

「夢をかなえるために」を配付します！

本日、「夢をかなえるために」という冊子を配付しました。これは豊平区・清田区の進路指導主会が作成しているもので、今後の進路予定、面接試験について、試験前日の準備、試験当日の注意点、合格答案への道などが書いてあります。よく読んで、受検に備えてください。



本日の6時間目の授業では、面接のビデオを見ます。特に私立高校の単願・専願・自己推薦は、早い生徒は明日から面接練習開始です。今年は私立を第一希望にする生徒が多く、人数が多い分、一人一人に割ける練習時間は限られてきます。入室・退室のマナーは、P5を見て、身に付けておいてください。P4の「よくされる質問例」P6～P9の各学校の質問例を見て、しっかり答えられるように練習してきてください。

公立の自己推薦生徒の面接練習は、冬休み後から2月10日までです。まだ期間はありますが、3学期になって慌てないように今から備えておきましょう。公立の一般受検で面接のある学校（P10参照）を志望している生徒は、2月10日以降に練習を開始します。同様に、内容を考えておきましょう。

※ポイントをいくつか押さえておきましょう。

①学校が求める生徒像（スクール・ポリシーなど）に、いかに自分が当てはまっているかを述べる。（志望理由）

「例：私が貴校へ入学したいと思ったきっかけの一つは、スクール・ポリシーにもある『世界に通用する〇〇』に共感したことです。自分の夢は、得意とする語学力を生かし、青年海外協力隊の一員として国際社会のために貢献することです。貴校は海外研修や留学なども充実しており、夢を実現できる最良の環境であると感じました。」

②自分がやりたいことや目標が、その学校の活動によってかなうことを強調する。（志望理由）

「例：私の夢は大学の経済学部に進学し、卒業後は公認会計士や税理士、会計コンサルタントなど経済に関する仕事に就くことです。その夢を実現するためには、在学中に経済に関する専門的な学習を学ぶことができ、さらにビジネス計算実務検定や簿記実務検定などの資格を取得できる貴校は理想の学校だと思い、入学を志望するに至りました。」

③学校説明会で感じたこと、良い印象を述べる。（志望理由）

「例：〇月に参加した貴校の学校説明会では、部活の見学をしていた際、先輩たちが生き生きと活動について説明してくださったり、受検の心配事に親身に相談に乗ってくださったおかげで、明るく爽やかな気持ちになりました。『私もこの学校で学びたい。』と強く思うようになりました。」

④ただ単に「〇〇委員をやりました。」「学校祭が楽しかった。」だけではなく、具体的なエピソードや成長できたことを交えて答える。（中学で頑張ってきたこと、高校で頑張りたいこと）

「例：生徒会活動では、3年前期で務めた学級代表が最も印象に残っています。初めての代表でしたが、修学旅行という大きな行事を成功させる一助になれたことは、大きな自信となりました。高校でも、同様の活動ができたと思います。」

「例2：特に努力したのは、3年前期での生活委員会の活動です。ベル席の状況がよくなかったので呼びかけをしましたが、最初はなかなか向上しませんでした。一人では無理と考え、係に協力を求めたところ、目標を達成することができました。一人で頑張るのではなく、仲間との協力と組織を動かす大切さに気付きました。そのため、生活委員の活動が思い出に残っています。」



「例3：一番心に残っているのは、学校祭の活動で装飾を担当したことです。私は『弘前ねぶた』を模した行燈（あんどん）を製作しました。木材加工は苦手だったのですが、先生の指示を基に努力し、楽しく製作することができました。点灯した瞬間の喜びは、特別なものでありました。高校の学校祭でも、製作活動に励みたいです。」

「例4：私は3年間 ○○部に所属しており、部活では仲間とともに大会の上位入賞を目指して日々練習をしてきました。大会の上位入賞することはできませんでしたが、仲間と協力し合い練習をすることで物事を諦めないことの大切さを学ぶことができました。高校でも、○○部で中学で果たせなかった目標に向け、頑張りたいです。」

⑤長所・短所も、具体的なエピソードを交えて。長所で褒められたこと、短所はどう改善しようと努力しているのか。（長所・短所）

「例：長所は自分では思っていませんでしたが、先生から『気が利くね』と言われたことがあります。給食当番の動きが遅かったので、早く食べたい一心で手伝っていたのですが、先生に褒められたのはとても嬉しかったです。その反面、他人に流されやすいところがあるので、自分の意思をはっきりもって主張すべき場面では堂々と主張できるように意識しています。」

⑥得意教科と不得意教科については、単に科目名だけ答えるのではなく、その理由と内容を具体的に話す。不得意教科については、どうやって克服しようと考えているのかなどを話す。

「例：得意な教科は英語です。試験で高得点をとることよりも、会話を中心とした『コミュニケーション能力』を身に付けることを心掛け、取り組んできました。授業以外の場面でも積極的にALTの先生とコミュニケーションを図ったので、簡単な日常会話ならこなせるようになりました。苦手科目は社会です。特に年代などの暗記が苦手でしたが、暗記カードを作成して毎日少しずつ覚えるように工夫しました。その結果、苦手を少し克服することができました。」

※皆さんの頑張りに期待しています！

益財団法人「あすのば」入学・新生活応援給付金について

あすのば入学・新生活応援給付金は、2026年4月に入学や新生活を迎える方々を対象に、「あなたのことを想っている人々が『ここにいるよ。』」という多くの方々のメッセージとともに、給付金をお届けする事業です。給付金は返済不要で、成績も問いません。

※継続的に学費等を支給する「奨学金」ではありません。あくまでも一時的な「給付金」です。

「あすのば」の詳しい申込方法や、Q & Aが載っています。必ずこちらから確認してください。12月2日のClassroomにも掲載しています。

